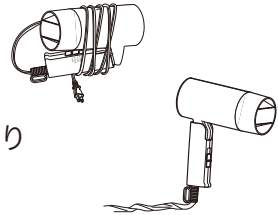
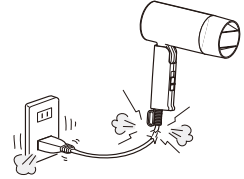


# ⚠ 注意

長期間使用しているとコードの内部が劣化する場合があります。

下記の内容に注意してください。

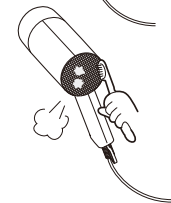
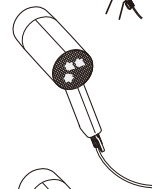
- コードやさし込みプラグなどが傷んでいたり、熱いときは使用しない。  
(コードやさし込みプラグなどが変形・変色・損傷していたりコードを動かすと電源が入ったり切れたりする場合は傷んでおり、感電・ショート・発火の原因になります。)
- 使用後のコードは本体に巻きつけない。  
(コードが傷んで感電・発火の原因になります。)
- コードがねじれたままで使用しない。  
(コードが傷み、感電・ショート・発火の原因になります。)



髪やほこりがドライヤー本体の内部に入ると故障の原因になります。

下記の内容に注意してください。

- 使用中、髪が吸込口に吸い込まれないように注意する。  
(やけどや故障の原因になりますので、吸込口に髪を近づけないでください。)
- 吸込口に髪やほこりが付着しないように注意する。  
(髪やほこりがたくさん付着すると風量が少なくなり、温風温度が上がり故障の原因になります。)



## 【吸込口・吹出口のお手入れの仕方 (月1回以上)】

吸込口の髪やほこりは、歯ブラシや掃除機などで取り除いてください。

吹出口は電源スイッチを COOL にして冷風を出しながら歯ブラシで取り除いてください。

(ほこりなどが飛び散りますのでご注意ください。)